

採草地



栄養価の高い、良質の牧草を多収かくし、刈取給与、サイレージ、乾草を作るため優秀な採草地が必ず必要です。



採草地用の優良品種

○……適又は強い。 △……充分利用できる。 ×……生育不良。

種類	優良品種	主な特性	品種間の熟期	適地				
				寒冷地	暖地	ヤセ地	乾燥地	潤潤地
赤クローバ	ハミドリ (OECD登録品種)	草丈高く、茎数も多く、炭ソ病、銹病、菌核病に強い。長年に亘り多収。	中生	○	○	△	△	△
〃	ケンランド	南方型炭ソ病に強く、比較的暑熱に耐える。	早生	△	○	△	△	△
〃	ペンスコット	初期生育良く、再生も良好。病害にも比較的強く短期利用。	早生	△	○	△	△	△
〃	マンモス	初年目の生育遅いが、2年目以降の生育は旺盛1回刈用。	晩生	○	×	×	△	△
〃	アルタースウェード	マンモスと同様、1回刈で多収。耐寒性で、永続性大。	晩生	○	×	×	△	△
ルーサン	デュピュイ	生育早く、刈取後の生育も良好、全国的に短年利用で多収。	早生	○	○	×	○	×
〃	ウィリアムスバーグ	再生は良い。全国的に各刈取毎に平均した収量をあげ、長年利用。	中生	○	○	×	○	×
白クローバ	カリフォルニヤラデノ	葉は大型で再生力極めて旺盛、採草地の下部空間をこのラデノで補う。	早生	○	○	×	△	○
アルサイククローバ	4倍体	葉茎巨大で多収、湿地、酸性地に比較的強い。再生はあまり良くない。	晩生	○	△	○	×	○
オーチャードグラス	ヘイキング	草丈高く、葉は大きく多葉で多収。雲形病に強い。1番草が多収。	晩生	○	○	○	○	△
〃	フロード	出穂茎数少なく、多葉で葉は比較的大きい。寒さに強い。	中生	○	△	○	○	△
チモシー	ホクオウ	草丈高く、茎数多い。刈取後の再生も良好2～3番草の収量多い。斑点病、条葉枯病に強い。	早生	○	×	△	×	○
〃	クライマックス	草丈高く、茎は細く多葉。再生良く、銹病に強い。	晩生	○	×	△	×	○
メドウフェスク	レト	出穂茎数多く、細くて柔らかい。分けつ多く、再生力も良く多収。寒さに強い。	中生	○	×	○	△	△
イタリアンライ	マンモス AB	共に1年生(暖地越年)なので、採草地の生産を高めるため、毎年追播する。	A晩生 B早生	○ ○	○ ○	△ △	△ △	○ ○
〃	オオバヒカリ	〃	晩生	○	○	△	△	○

H・ワンライグラス		イタリアンライとベレニアルの中間型、2～3年生、暖地では多く利用されるが寒さにも強い。		○	○	△	△	○
トールオートグラス		早ばつや暑さに強く、再生も良い。全国的に採草用として利用。		△	○	△	○	×
ブROOMグラス		寒さ暑さに強く、早ばつにも耐える。マウンテンブROOMは短年利用、スムーズブROOMは地下茎あり永年利用。		○	○	○	○	○
トールフェスク	ケンタッキー31 フエスク	不良条件に対して良く耐える。耐寒耐暑性大で長期に利用できる。		○	○	○	○	○
レッドトップ		不良条件に対して良く生育し、とくに湿潤なヤセ地に向く。		○	○	○	△	○
ダリスグラス		暑さに極めて強い南方型放草。草丈70～150cmに伸びる。		×	○	△	○	△

採草地の混播例

(10アール当り)

北海道・東北地方北部		東北地方南部・北陸地方		関東地方	
赤クローバ	1.0*	赤クローバ	1.0*	赤クローバ	1.0*
ルーサン	0.5	ラデノクローバ	0.3	ルーサン	0.5
オーチャードグラス	1.0	オーチャードグラス	1.0	ラデノクローバ	0.3
メドウフェスク	0.5	チモシー	0.5	オーチャードグラス	1.0
チモシー	0.5	イタリアンライグラス	0.3	H・ワンライグラス	0.5
イタリアンライグラス	0.3			イタリアンライグラス	0.3
東海・近畿地方		九州地方		<ul style="list-style-type: none"> ● 優良品種を使用する。 ● 不良地には、ラデノクローバの代りに白クローバ、その他ケンタッキー31フェスク、レッドトップ、ブROOMグラス、アルサイクローバなど状況に応じて入れる。 ● ルーサンは、酸性地やヤセ地では生育不良。石灰施用必要。 ● 播種量は合計で3～4*とする。 	
赤クローバ	1.0*	赤クローバ	1.0*		
ルーサン	0.5	ルーサン	0.5		
ラデノクローバ	0.3	オーチャードグラス	1.0		
オーチャードグラス	1.0	トールオートグラス	0.5		
トールオートグラス	1.0	ダリスグラス	0.5		
イタリアンライグラス	0.2	イタリアンライグラス	0.3		

採草地利用上のポイント

- 適期に刈取ること。イネ科の出穂期頃が良い。
- 刈取高さは5～7cm位。
- 刈取季節によって、青刈、乾草、サイレージに利用。
- 刈取後の追肥を忘れずに。
- 雑草類は早目に刈取るか抜きとる。

採草地の栽培基準

(数量は10アール当り)

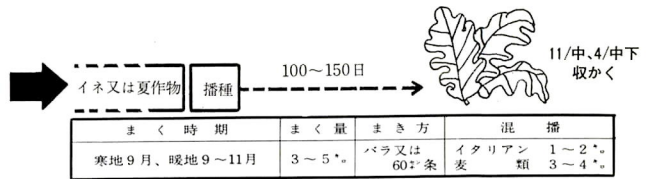
地帯	播種期	播種量	播種法	施肥量					収か		摘要	
				基肥			追肥		利用時期	収量		
				堆肥	石灰	化学肥料(成分量)						時期
			N	P ₂ O ₅	K ₂ O							
東北地方 (岩手県の例)	8/中～9/下	赤クローバ 0.5～0.7* オーチャード 1.8～2.0 イタリアン 0.3～0.4	散播	1,600	*	7～10	7～15	6～8	N ……15～20 P ₂ O ₅ 10～12 K ₂ O 25～35	4/下～10/下	5～8	
北陸地方 (新潟県の例)	8/下～10/上	ラデノクローバ 0.3 オーチャード 1.0 ケンタッキー31 1.0 イタリアン 0.5	散播	4,000		5	20	10	融雪直後…… { N …… 5 P ₂ O ₅ …… 10 K ₂ O …… 5 刈取毎…… { N …… 5 P ₂ O ₅ …… 5 K ₂ O …… 5 根雪直前……炭カル 1000	4/下～7/上 …… 3～4回刈 6～7 9/上～11/上 …… 2～3回刈 2～3		
関東地方 (埼玉県の例)	9/上～9/中	赤クローバ 0.5 ラデノクローバ 0.3 オーチャード 1.0 イタリアン 2.5	散播	3,000	100	15～20	15～20	15～20	N …… 4 P ₂ O ₅ …… 6 K ₂ O …… 6	12/上 4/上～11/上	8～12	※
近畿地方 (兵庫県の例)	9/上～10/上	ラデノクローバ 0.5 オーチャード 1.5 イタリアン 0.3	散播	2,000	200	10	6	18	3/上～3/中 5/上～5/中 8/中～9/下 N …… 20 P ₂ O ₅ …… 6 K ₂ O …… 18	4/中～11/中	5～8	

※2年目春は牛尿100K+磷酸1Kを追肥。

*秋まき 青刈作物… 3種

● 雪印スーパーシーオー^{〔青刈レープ〕の優良品種}

青刈用に改良した葉茎巨大で多収のレープ。弱酸性地や湿田に強く又、耐病性や耐寒性強い。水田跡地などに秋まきし、早春開花直前頃刈取り、収量多い。



● ベッチ

つる性の1年生まめ科作物、寒さに強く、水田裏作、輪換畑などに、麦類と混播し栄養価と収量をあげる。

コモンベッチ……

暖地の秋まきに適す。寒地では春まき。

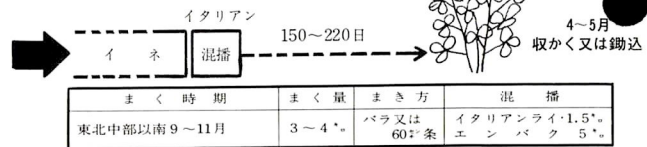
ヘアリーベッチ……

寒さに特に強く、寒地でも秋まきで多収。



● れんげ (紫雲英)

1年生のまめ科作物、東北地方中部以南で広く水田裏作に用いられている。湿田や酸性地では生育不振なので、むしろアルサイクローバ、レープ、イタリアンライグラスが良い。



コモンベッチ



青刈デントコーン

夏作物収かくの跡地が、そのままになっていませんか？

すぐ夏まき青刈作物で多収かくして下さい。

短期間(8月→10月)に多収をあげるため、密植播栽培が有利。

* 青刈デントコーン 60^号の条播、10アール当り、播種量10*。

* 青刈ソルゴー 60^号の条播、10アール当り、播種量6*。

優良品種を使えば必ず儲かると云う話

農林省長野野畜牧場で、同条件のもとで、3ヶ年に亘り優良品種と普通種を用い、混播牧草の生産量の比較をし下記の興味ある数字を出した。

区分	普通種区	優良品種区	増収分	使用草種
生草収量(3ヶ年合計)	16,691*	20,666*	+ 3,975*	オーチャード イタリアンライ 赤クローバ } 混播
可消化粗蛋白質(DCP)	338.1	485.9	+ 147.8	
可消化養分総量(TDN)	1,940.5	2,498.9	+ 558.4	

TDNから見ると増収分558.4*はフスマ約900*に相当し、10アール当り約26,000円の儲となり、又このプラス分の栄養価から、DCPでは、乳脂肪3.0%の牛乳約3,700*、TDNでは約2,000*の生産飼料に相当します。このように優良品種使用の経済性は想像以上に高く、優良種子の価格が高いとしても、その数10倍の収入と結びつくことを考えれば、もっともっと優良品種を利用してほしいものです。(使用優良品種…オーチャード・ヘイキング、イタリアン・マンモス、赤クローバ・ハミドリ)